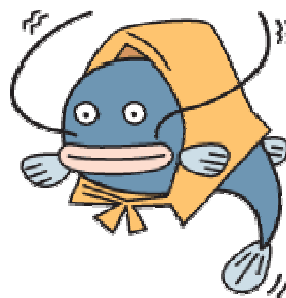


# 緊急地震速報 なますきん



マンスリー レポート  
2009年 6月号

発行元 株式会社 ハレックス

## ～～～ なますきんの働き（2009年6月） ～～～

### 【発信数概要】

平成 18 年 8 月に緊急地震速報の先行運用が始まってから今年 5 月までの 2 年 10 ヶ月間に、1,768 個の地震（ただし、深さ 150km 以浅の地震数）に対して緊急地震速報が発表されました。下の図は、月毎の発生個数の推移を示したのですが、もっとも多かったのは平成 18 年 8 月の 106 個、もっとも少なかったのが今年 5 月の 23 個でした。

5 月に緊急地震速報（予報）が発信された 23 個の地震における発信の総数は 114 通でした。先行運用が始まってからの月平均データと比較しますと、地震数は約 44%、発信数は約 38%で、いずれも月平均の半分以下であり、これまでで最も地震の少ない月となりました。この 3 ヶ月間対象となる地震の発生が少ない状況が続いています。

また、緊急地震速報で推定震度 4 以上と報じた地震は 2 個、このうち震度 4 を観測した地震は 1 個でした。なお、平成 18 年 8 月以降推定震度 4 以上と報じた地震の月平均発生数は約 6.3 個です。

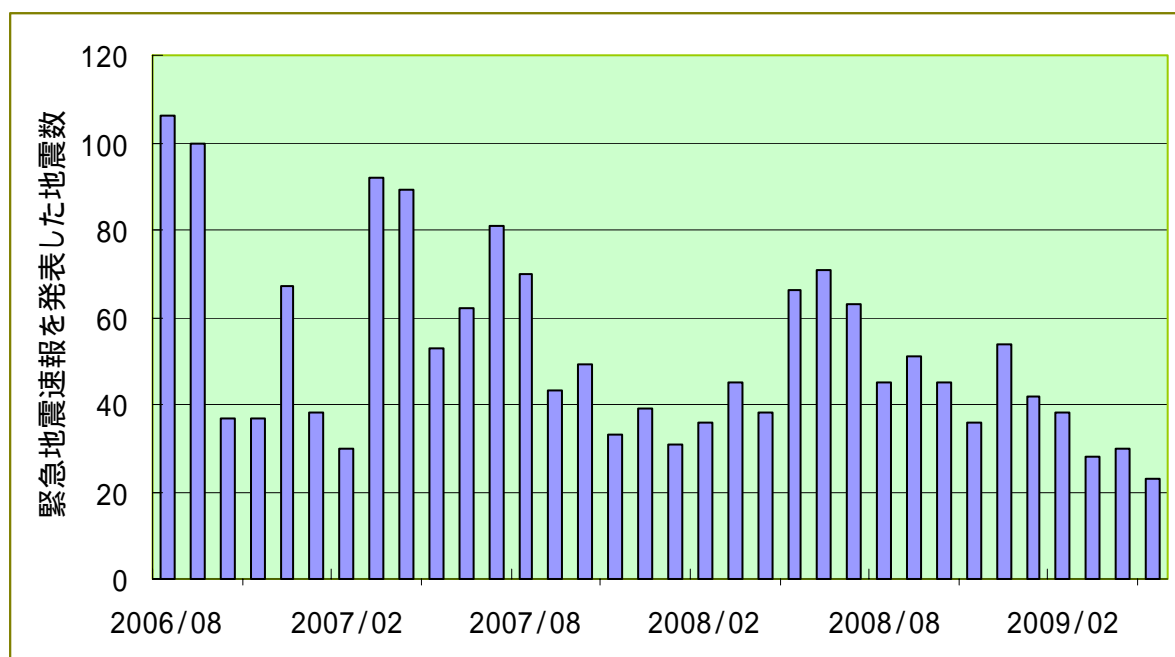
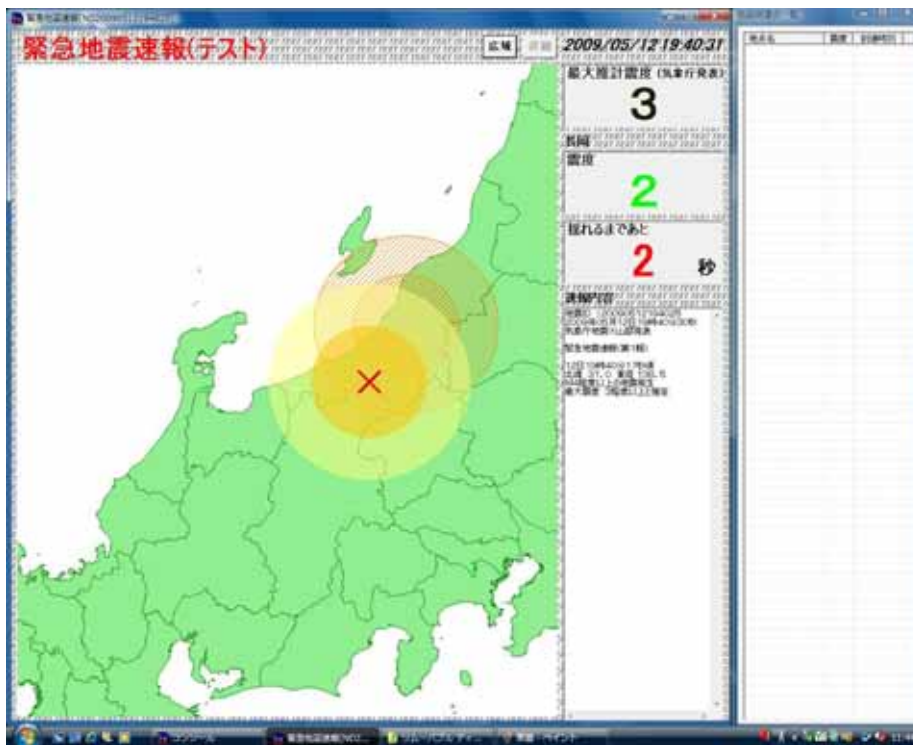


Table.1 震度 4 以上を発信または観測した地震 (2009 年 5 月)

日	時分	地域名	深さ (km)	マグニチュード	速報発信数	速報最大震度 (最終報震度)	観測最大震度 (地点数)
12	19:40	新潟県上越地方	12	M4.8	6	4(4)	4(4)
25	20:26	静岡県西部	26	M4.7	6	4(3)	3(16)

【新潟県上越地方の地震】

2009年5月12日19時40分に新潟県上越地方の深さ12kmでM4.8の地震(最大震度4)が発生しました。この地震は地殻内で発生した地震で、発震機構\*は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型の地震でした。今回の地震は、この付近ではよくみられる型の地震でした。余震活動は1日程度で減衰し、その後M3.0以上の余震は発生していません。なお、この地震では震央付近で配水管損傷等の被害がありました(総務省消防庁による)。



高度利用者向け緊急地震速報の第1報は、地震発生後の約14秒後に発表されました。

左図は長岡市に着目したときの第1報を受信・処理した直後の“なまずきん”による再現画面です。

×印が震央で、外側の円がP波、内側の円がS波の拡がりを現わしており、S波が長岡市に到達するまで2秒、推定される震度は2であることを示しています。

長岡市で観測された震度は2でした。

\*)発震機構とは、ある断層が地震を起こした際における、地下での断層の位置や方向、地震の際の断層の動きのことです。メカニズムともいいます。

Table.2 緊急地震速報で最大震度が3と推定された地震(2009年5月)

日	時分	地域名	深さ (km)	マグニチュード	日	時分	地域名	深さ (km)	マグニチュード
13	03:14	奄美大島近海	45	M3.9	26	19:31	浦河沖	70	M4.7
20	04:42	北海道南西沖	11	M3.8	27	06:40	岩手県沿岸北部	33	M3.9